一般区分・特別エリア区分共通
No.1(共通)

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし

応募概要

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
応募区分	一般区分		
複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	いっぱんしゃだんほうじんきたりゅうしょくぶんかい		
制作団体名	一般社団法人喜多流職分会		
代表者職・氏名	代表理事 友枝 昭世	団体ウェブサイトURL	
制作団体所在地	〒 141-0021	最寄駅(バス停)	目黒駅前
	東京都品川区上大崎4-6-9		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	☑	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です	
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名		団体ウェブサイトURL	
公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	令和元年 11月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事友枝昭世 理事 高林皓二・香川靖嗣・塩津哲生・粟谷能夫 監事 金子敬一郎	シテ方喜多流能楽師として演能活動を行う能楽師 20歳以上 会員(能楽師)30名 準会員(能楽師)5名	
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	友枝 雄人
経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	勝田 良子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス	電話番号	
	taketomosoleil@ybb.ne.jp	09071722149	

制作団体の実績		
	制作団体沿革・主な受賞歴	【一般社団法人喜多流職分会】 令和元年11月設立 喜多流の伝承を守り伝えて流儀の興隆を図ることを目的とし設立。 一般社団法人として活動する以前は喜多流能楽師の集団として喜多流というくくりで活動。 個々に受ける公演をサポートし合いながら開催。さらなる活動の場を広げるべく一般社団法人として活動を令和元年より開始。 代表理事は現在の喜多流宗家預かりで重要無形文化財保持者各個認定（人間国宝）友枝昭世。 一般社団法人喜多流職分会の能楽師が属する喜多流は、能楽のシテ方5流の中で他の流儀よりも幾分小規模ですが、文化勲章も受章した十四世喜多六平太はじめ人間国宝認定者を4人も輩出しています。能楽は武家の式楽として長い歴史を誇っていますが、その中で喜多流は特に武士気質が強く、素朴ながら豪放な遠目にも力強さが感じられる芸風が特徴です。
	学校等における公演実績	（直近主催公演） 令和4年度　喜多流養成会「鵜之段」他　　令和4年度　喜多流素謡・仕舞の会「竹生島」他 令和5年度　喜多流養成会「雷電」他　　令和6年度　喜多流養成会「黒塚」他 令和7年度　喜多流養成会「湯谷」他 令和元年より現在の一般社団法人化したため令和5年度までは学校等の公演実績は文化庁令和2年度第3次補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」、令和3年度補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」のみとなります。 令和3年11月11日　岩手県気仙沼郡住田町立有住小学校 令和3年11月30日　長崎県佐世保市黒髪小学校 令和3年12月6日　岩手県平泉町立中学校 令和3年12月6日　岩手県平泉町立小学校 令和3年12月8日　岩手県一関市立桜町中学校 令和4年11月28日　大田区立矢口中学校 令和6年度より「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」に参加
	特別支援学校等における公演実績	令和6年9月9日ワークショップ・令和6年10月24日同校にて本公演実施 千葉市立北貝塚小学校　特別支援学級

参考資料			
	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/GF21RHZun6E	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添	あり

【公演団体名　一般社団法人喜多流職分会　】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	700年の歴史”能楽”を体験しよう！
企画のねらい	室町時代よりおよそ700年にわたり受け継がれてきた日本の伝統芸能「能楽」。しかし実際にご覧になったことのある方は国内でもまだ少なく、また能楽堂の数も限られているため、地域によっては鑑賞の機会を得ることが難しいのが現状です。今回の企画では、能楽を間近で鑑賞するだけでなく、能楽師による直接の指導を受けて実際に体験していただきます。それにより、生徒には、古来より受け継がれてきた日本文化の伝統の重みを体感していただきたいと考えております。 また、このような貴重な体験を多感な小中学生の時期に行うことで、今後の学習（社会・国語・音楽など）にも良い影響を与え、理解を深める一助となることと期待しております。
演目概要・演目選択理由	能「大会」：鳶（とび）に化けた天狗は木から落ち、童たちに捕らえられ命を奪われそうになったところを比叡山の僧正に助けられます。能「大会」はその後のお話です・・・ 僧正のもとに山伏が尋ねてきます。山伏は命を助けられた御礼に望みを何でも叶えてくれると言います。僧正は釈迦の霊鷲山（りょうじゅせん）での説法を目の当たりにしたいと希望します。お安い御用と引き受けた山伏は「そのかわり決して信心を起こしてはいけない」と念を押し、姿を消します。この山伏こそ天狗でした。 その後天狗が現れて魔術をつかい釈迦が姿を現します。そして目の前に釈迦の説法が再現されるのでした。じつは天狗が釈迦に扮しているにすぎません。しかし僧正はその荘厳な雰囲気に思わず信心を起こし、涙を流して合掌します。すると、突然、天地が震動して帝釈天が出現し、僧をだました天狗を懲こらしめます。魔力を失った天狗はふらふらになって洞窟へと逃げ去るのでした。 日本昔話にもあるような学生にもわかりやすい筋書き、悪い事をした天狗ではありますが恩返しの気持ちを持っているところなどは見ている生徒には心の温かさを感じていただけると期待しております。
児童・生徒の参加または体験の形態	【ワークショップ】 ・代表の生徒への装束着けをいたします。他の生徒は着付けが進むにつれ段々に天狗に変わっていく様子を装束の仕組みの説明とともにご覧いただけます。 ・能の構えとハコビ（すり足）を能楽師指導のもと全員参加で稽古していただき普段歩くときとは違う感覚を体感していただきます。稽古後、数名の生徒に面をつけてハコビをしていただきますが、その際には本公演「大会」で使用する面を本番同様二面重ねてつけていただきハコビを体験していただきます。 【本公演】 能のお囃子の1つ太鼓の稽古を全員でいたします。代表の方何名かには舞台上で太鼓の演奏を他の囃子と一緒にしていただき、他の生徒は自身の膝と手のひらを使って稽古いたします。合わせて謡の稽古も全員が参加して行い演能の冒頭に謡を謡いそこから舞台が始まる舞台参加型の公演にいたします。

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	300名
		鑑賞人数目安	300名

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	本公演演目　半能「大会」　脚本　喜多流謡本に拠る　演出　友枝雄人 【プログラム構成】 第一部　演目解説及び楽器の体験 ●はじまりの挨拶 ● 囃子方による囃子の演奏　（5分） 大鼓・小鼓・笛・太鼓の迫力ある演奏を体感。 出囃子2種（ゆったりバージョンと早いバージョン）を聞き比べていただきます。登場人物のキャラクターにより音楽性に変化があることを感じていただきます。 ●能の楽器体験　太鼓のお稽古（25分） 代表者数名に舞台上に上がっていただき、残りの生徒は膝と手のひらで今回の演目の旋律を練習します。 ●謡（うたい）の再確認（10分） ワークショップで稽古した「大会」の謡を再確認の為の発声練習。 ●能「大会」　能楽師が描き語る　紙芝居でのストーリー解説（10分） 〈休憩10分〉 第二部　半能「大会」 ●半能「大会」鑑賞（20分）冒頭に稽古した謡を全員で謡い舞台が始まります。 ●質疑応答（10分） ●出演者による終わりの挨拶 公演時間計80分　休憩10分 別添1・2有

	公演時間	90	分				
出演者	別添3メンバー表添付						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	友枝昭世：一般社団法人喜多流職分会代表　喜多流宗家預かり　2000年紫綬褒章受賞。2003年日本芸術院賞受賞。2008年重要無形文化財保持者各個認定（人間国宝）。2011年日本芸術院会員。　2020年旭日中綬章受章。 友枝雄人：能楽協会会員。財団法人十四世六平太記念財団理事。重要無形文化財総合認定。「五蘊会」主宰。「観ノ会」参加。平成21年（2009年）小学館白洲賞受賞。コクーンアクターズスタジオでの講師や東京都及びアーツカウンシル東京主催公演、芸団協主催「大人のための伝統文化・芸術体験事業」にも携わり能の体験指導の経験も豊富。 金子敬一郎：能楽協会理事。財団法人十四世六平太記念財団業務執行理事。重要無形文化財総合認定。流儀のみならず能楽協会でも理事を勤め能楽の普及活動に尽力。						
本公演従事予定者数(1公演あたり)※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者：16 名 スタッフ：3 名 合　計：19 名		運搬		積載量：3 t 車　長：6.3 m 台　数：1 台		
本公演会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出	
	9時	9時～12時	13時～14時30分	10分	14時30分から16時	16時半	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月	7月	8月	9月			
	13日	13日	10日	13日			
	10月	11月	12月	1月			
	13日	10日	13日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	100日			

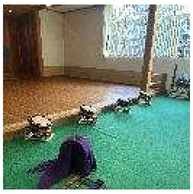
本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ（舞台の規模や演出がわかる写真）

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し

能楽の舞台設営専門会社による舞台設営をいたします。学校の体育館ではありますが、能楽堂に行ったような雰囲気を感じていただけます。

謡や太鼓の稽古もいたします



半能「大会」

天狗がお釈迦様に成りすましている様子です。

帝釈天が現れ、僧をだました天狗を懲らしめます。

迫力あるシーンの連続です

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通

No.3-①(実演芸術)

別添	なし

【公演団体名　一般社団法人喜多流職分会　】

ワークショップの内容				
	ワークショップのねらい	日本の伝統文化である「能楽」に初めて触れていただくこの機会を有効に使うため、能楽師からの直接の指導や本物の能装束・能面を間近で見て、着けて能楽への関心を高めるようにいたします。 ただ与えられた物を見るだけでは前のめりな鑑賞は期待できません。ハコビや構えと呼ばれる能の歩き方や姿勢、能の所作を全員で練習します。また本公演で全員に参加していただく謡の稽古をいたします。 ワークショップ後半には本公演「大会」の装束や面を着ける体験をしていただき、より積極的に観能につなげる企画といたします。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	300名
	ワークショップ実施形態及び内容	90分～100分　所要時間は学校とご相談の上調整させていただきます。 体育館や教室を使用 ●はじまりの挨拶 ●「能」って何？(10分) 「能」ってそもそもどんなものなのだろうとほとんどの生徒が思うのではないかと思います。まずは「能」が何なのかについて学年に合わせて能楽師がわかりやすく説明いたします。 ●能の所作や謡の体験(25分) 本公演の際に能楽師が舞台上で行うハコビや拍子を踏む稽古、能独特の立つ姿勢(構え)や腕や手を使ってするしおり(泣く動作)や木の葉を吹き上げる動作を能楽師と一緒に稽古します。 謡は本公演「大会」の前半最後の場面でお釈迦様に変身する際に「決して信心を起こさずただ見るだけ」と念を押す場面の謡を練習し本公演での発声に備えます。 【休憩10分】 ●装束着け(25分) 装束を代表生徒1名に能楽師が着付けします。今回の本公演の演目「大会」は天狗がお釈迦様に化けるところが見どころの1つで、天狗の装束を着た上にお釈迦様の装束を着付けます。天狗がお釈迦様に化ける過程をご覧いただきます。装束の仕組みも知っていただくとともに、大変重い衣装を重ねて纏う大変さにその過程をみることで驚かれることと思います。 ●能面を着けてのハコビの体験(20分) 着付け完了後、実際の面を装着してハコビをしていただきます。今回の演目「大会」は天狗の面と釈迦の面の二面を重ねてつけての演能場面があります。ワークショップではそれと同様に二面つけてチャレンジします。装束を着けた生徒のみではなく何名かの生徒に体験していただきます。 ●終わりの挨拶		

その他ワークショップに関する特記事項等	生徒にはシアター形式で椅子に着席していただくか、床に座っていただきます。 謡は座ったままで、ハコビや構えの稽古はその場に立ってご参加いただけます。生徒数によってはグループ分けしての指導も可能です。 装束や能面を着けてのハコビ体験を何名かの生徒に前に出て体験していただきます。 装束着け体験 体育館での実施の様子 体育館で実施の際に気温が高すぎた場合、熱中症対策として、前半のワークショップを教室への配信で実施。音楽室から各教室へ配信をいたしました。後半からは体育館にて実施。水筒を持参していただき、さらなる対策をいたしました。（過去公演事例） 今年度も状況により学校と相談の上、臨機応変な対応をいたします。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし

【公演団体名　一般社団法人喜多流職分会　】

記載方法等	
	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。 ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。 ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。 ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。 上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)　公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。

項目				
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量	A以上
舞台設置面積	間口	18 m	奥行	12 m
	高さ	3 m		
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
搬入間口の広さ	幅	1.2 m	高さ	1.8 m
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否	有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	要
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	10 m以内
搬入車両の種類	小型トラック(軽トラック)		台数	1 台
搬入車両の大きさ	車幅	2.2 m	車長	6.3 m
備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)　**学校からの提出を求める資料**がある場合のみ記入してください。

項目	内容
会場図面の提出要否	要
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	

時間外対応

（任意）　万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、**必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。**

なお、**一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。**

※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。

	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
ワークショップ					
ワークショップ					
本公演					
本公演					

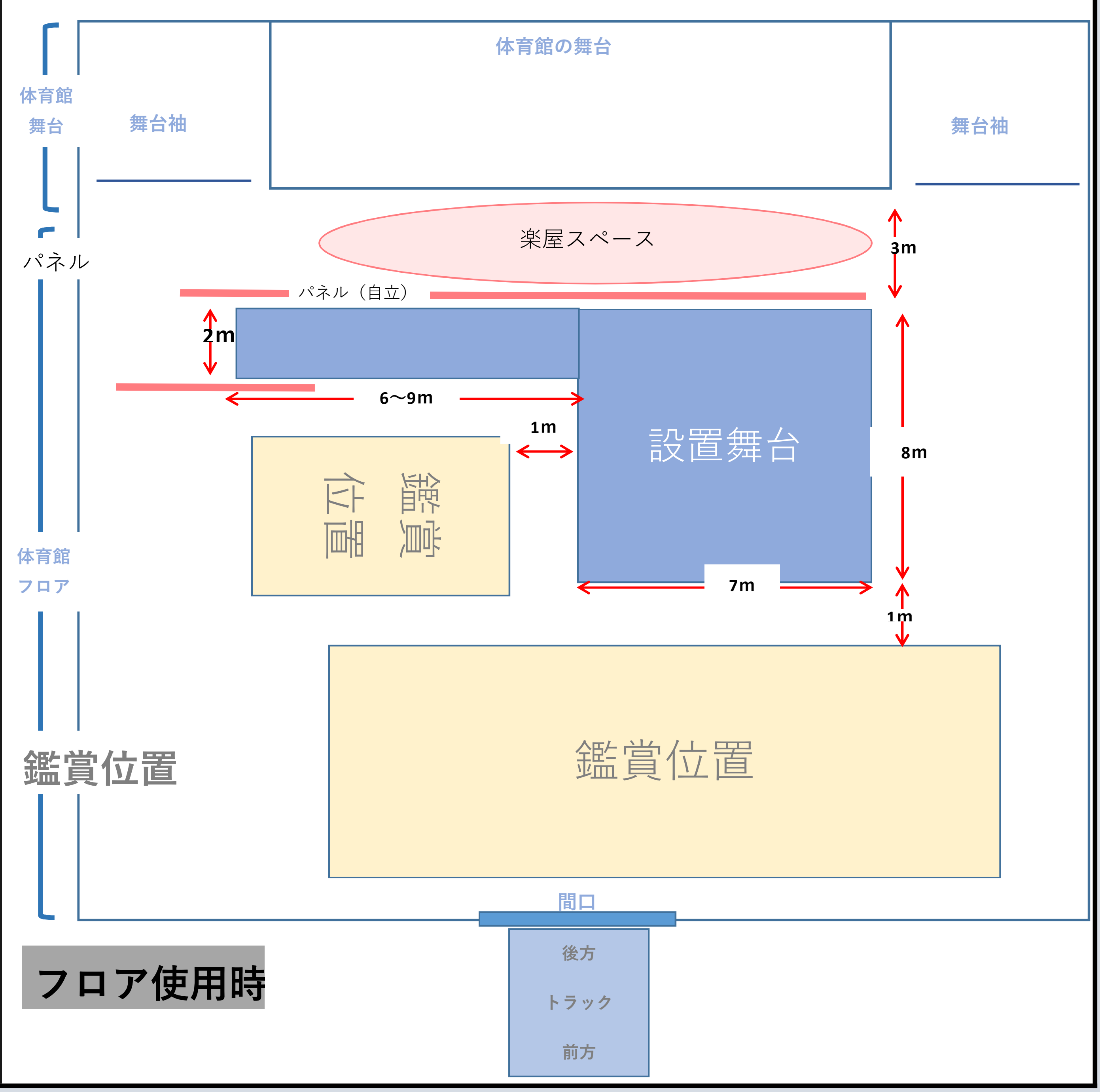
個別確認事項

（任意）　上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。

	個別ヒアリング事項
1	
2	
3	

（任意）	会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
	※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添	なし

【公演団体名　一般社団法人喜多流職分会　】

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】
		喜多流の歴史は1586年に誕生した喜多七太夫長能より始まり、現代にその芸が受け継がれています。2019年に一般社団法人として発足した喜多流職分会はその流儀の能楽師で構成され、喜多流の芸の継承・普及として公演を重ねて参りました。 日本全国において学生向けの公演を実施したいと最近の活動としては文化庁子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業や体験復興事業にも参加させていただき、令和6年からは学校巡回公演にも加わらせていただき多くの生徒の前での公演を経験いたしました。今後も学校公演の経験を踏まえて生徒に興味を持っていただけるような内容のワークショップ・本公演を実施してまいります。 選曲した「大会」は本公演では能楽師が紙芝居を使って前半のストーリーを解説し、その後の観能につなげます。能はストーリーを把握した上でご覧いただいても見る生徒一人一人の感性によって解釈も変わってきます。今回の公演はそういった生徒一人一人の潜在能力を引き出す絶好の機会と考えております。 生徒の皆様に日本古来から受け継がれる感性をお伝えするにあたって能楽協会会員の第一線で活躍中の能楽師を揃えてのハイレベルな演能をご鑑賞いただきます。 命を助けてもらった大天狗の恩返しの筋書きは学年を問わず理解しやすく、能楽は難しそうと感じていた生徒にも親しみを持っていただけると考えます。 ダイナミックな動きも多い演目の為、思わず惹きつけられてしまう展開で飽きさせずに最後までご覧いただけると思っております。その迫力ある舞台を間近でご覧いただくことは生徒にとって深く印象に残る公演になると自負しており、日本の伝統文化を大切に思っていただける機会になればと願います。
		【上記の実現に向けて、実施の工夫】
		能楽ってなんだろうと思う生徒も多くいると思います。その生徒へ能楽を知っていただく第一歩として、ワークショップと本公演を通して生徒の疑問に現役の能楽師が答え、生徒自身が能楽の楽器やハコビ、謡いを稽古してみる体験を実施します。その経験を通して、難しそうに感じていた能楽を身近に感じていただきます。その後の本公演では演能を生徒の目の前で披露し、その迫力を生で間近で体感していただきます。 ただ漠然と見るだけではなく、そこにも太鼓の稽古や謡での舞台への参加を入れて主体的に観能できるよう導きます。 能について知った後の観能は、能の世界への没入感をより高められると考えます。
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】
		・公演実施前には実施校の御担当の先生と詳細な打合せをし、それぞれの学校の形態や要望に合った実施方法をご提案させていただきます。 ・連絡は電話やメール等学校のご希望に合わせ、先生方に負担の少ないよう努めます。 ・実施時間は学校の授業時間に合わせた対応をとり、他の授業への影響が出ないようにいたします。 ・夏期実施の場合、昨今の猛暑への対策として、学校のご希望があればワークショップや公演の一部をオンラインを使用し教室で行い、生徒の熱中症対策をさせていただくことも可能です。
		【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】
		参加学年によって説明方法等変更し、理解できるよう対応いたします。 今までも小学校1年生～6年生や中学生と、特別学級の生徒まで幅広く参加いただいた経験があり、生徒の年齢等に応じた体験方法を実施してまいりました。 事前に打合せをさせていただき生徒一人一人が充実した体験をできるよう努めます。
		【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】
		公演後、「大会」前半部分の紙芝居と後半の演能の動画をUPし、参加いただいた学校へそのURLをご案内いたします。 公演後の授業で振り返りをする際に役立てていただきます。 また、限られた時間でのワークショップや公演となりますので、能楽師への質問があれば随時承りご返答いたします。

一般区分･特別エリア区分共通

別添　※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人喜多流職分会	】

別添1
本公演演目

【本公演の流れ】

はじまりの挨拶に続き**囃子方による演奏**。ゆったりバージョンと早いバージョンを聞き比べてその違いを感じていただきます。

能の楽器体験
太鼓のお稽古
全員で練習します。

謡の発声練習
ワークショップで稽古した謡をこの後の演能で全員に謡っていただきます。そのための再確認の練習です。

鳶に化けている時に童たちに捕まった天狗は正僧に助けてもらいました。能楽師の**手作り紙芝居**で「大会」前半部分をお話しします。
（スクリーンへの投影予定）

いよいよ**半能「大会」**の始まりです。皆様で稽古した謡を全員で謡ってスタートします。

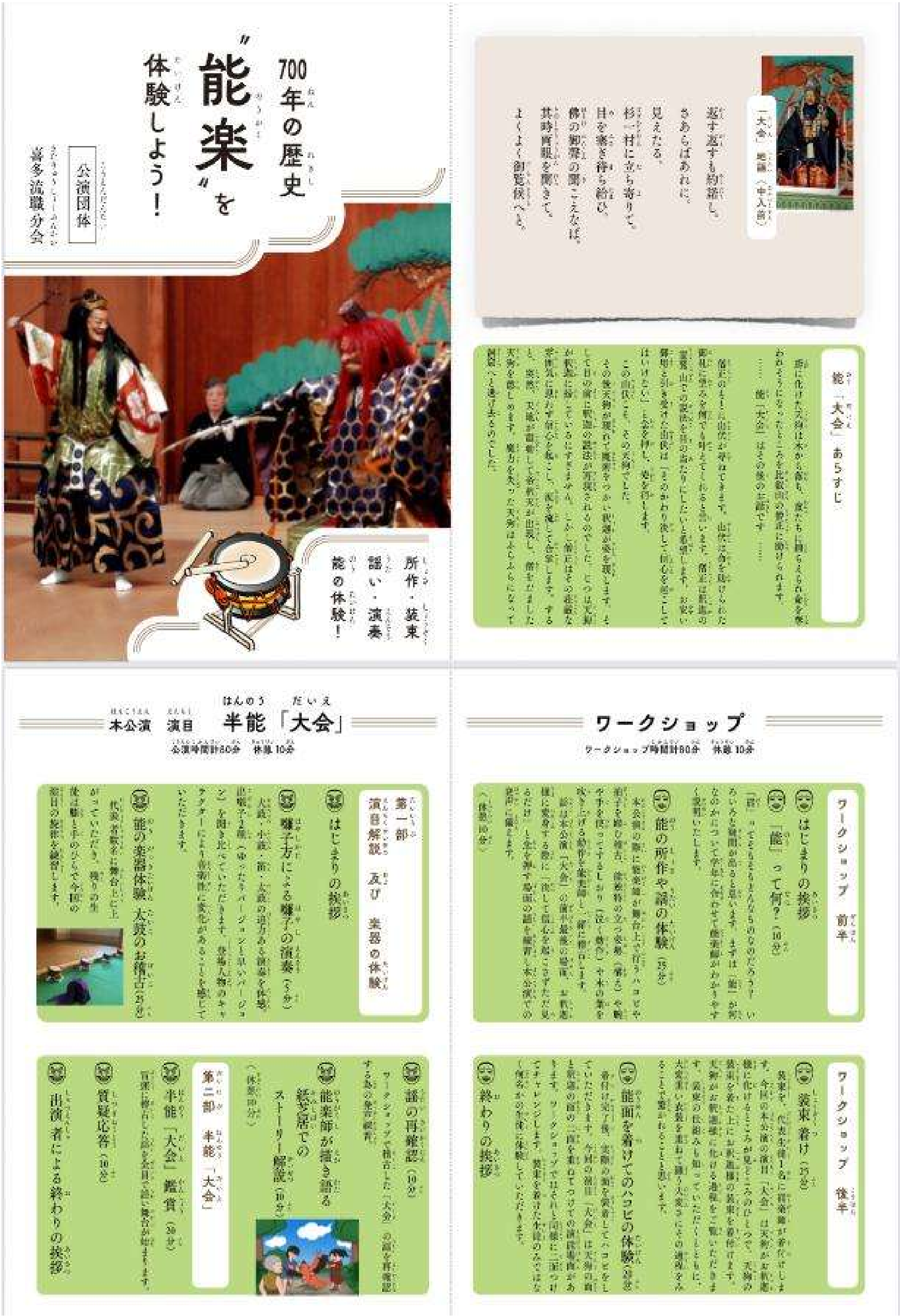
助けてもらったお礼にと釈迦に変身し、僧正の前に現れた天狗　僧正は思わず信心を起こしてしまいます。

天地が震動し帝釈天が出現。だました天狗を懲らしめます・・・

出演者による終わりの挨拶

一般区分・特別エリア区分共通

別添　※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名　一般社団法人喜多流職分会　】
別添2 公演パンフレット		

一般区分・特別エリア区分共通

別添　※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人喜多流職分会	】

別添3 出演者	公演日期間によりシテ方10名・ワキ方2名・囃子方4名を選定 シテ方 ◎大村定 ◎友枝雄人 ◎金子敬一郎 ◎狩野了一 ◎内田成信 ◎高林呻二 ◎粟谷充雄 ◎粟谷浩之 ◎佐々木多門 ◎大島輝久 ◎友枝真也 佐藤寛泰 佐藤陽 谷友矩 高林昌司 狩野祐一 友枝雄太郎 金子龍晟 ワキ方 ◎宝生欣哉 御厨誠吾 大日方寛 野口能弘 野口琢弘　等 囃子方 大倉慶之助（大鼓） 亀井洋佑（大鼓） ◎成田達志（小鼓） 成田奏（小鼓） 曽和伊喜夫（小鼓） ◎一噌隆之（笛） 栗林祐輔（笛）　等 ◎は重要無形文化財総合指定認定 出演者全員が能楽協会会員であり能楽公演で活躍しているメンバーが出演